

DF技術部会<医療懇話会>

☆懇話会の目的

会員に役立つ最新の医療をわかり易く解説する

☆演題分野

癌治療・救急医療・介護・高齢疾患・特別講演・他

☆講師

大学病院及び基幹病院の専門的立場の医師

☆開催

年間3回(4月、6月、12月)⇒8月、12月

☆対象

DF技術部会メンバー(約100名)

☆世話役

・佐藤和恵 ・鶴岡正吉 ・赤堀智行

医療講演テーマ

救急医療	癌治療	介護関連
救急医療と脳血管障害	消化器疾患と内視鏡	地域包括ケア
救急と延命治療	最新の癌治療(免疫療法)	共生社会
コロナ感染下における医療体制の現状と課題	癌を知る「乳癌」	介護の現状と課題

高齢疾患	DF講演	特別講演
加齢と眼科	痛みー不思議な感覚	コロナウィルス総論
整形外科疾患	老化とは カカオハスクの抗酸化作用	地域ケアサービスの現状と課題
高齢化と歯科医療	高齢者の健康・経済	
健康に寄与する口腔講座	排尿障害の原因と治療	

2025年問題

* 75歳以上 国民の4人に1人(2200万人↑)

* 問題のポイント [人口と労働力・医療・介護・社会保障費・空き家]

・労働力不足:約600万(情報通信・卸売・農林水産・運輸・建設・金融不動産)

・医療:医療・介護サービスの利用急増⇒病院・医師の減少、医師NSの人手不足
医療保険給付54兆円(日本の現財力では無理)

・介護:人材(必要人材250万人、確保210万人)⇒介護難民の急増
認知症---高齢者の20% 「介護人材不足」「老老介護」「認認介護」

・社会保障費:

140兆円 受給金額の減少と支給年齢の引き上げ⇒年金制度の破綻か

・空き家:

2017年築50年マンションは5.5万戸、2025年には30万戸⇒空き家問題

* 対策

・地域包括ケアシステムの導入

住居・医療・介護・生活支援等をトータルサポートする

・病院から在宅へ

<日本の医療問題>

★2025年問題

- ・団塊世代800万人プラス(国民の1/4)
- ・要介護、利用者の増加
- ・介護離職(10万人)と人材不足(70万人)
- ・年金、社会保障費の増大と文教、科学技術費の削減
- ・介護難民・老老介護・虐待・核家族化

★医学教育

麻酔	手術が出来ない(外国はNS)
眼底	眼科のみ(外国は医学生)
気管挿管	医師のみ 日本10%しかできない
がん告知	60% 告知方
医学生	出席簿、面接

★医療保険制度・診療報酬制度

★低医療政策による医療崩壊

今後の研究と検討テーマ

<日本の医療問題>

* 2025年問題

[労働力・医療・介護・社会保障費・空き家]

* 医学教育

* 医療保険制度と診療報酬制度

* 低医療政策による医療崩壊

<漢方医学と西洋医学の融合>

現代医療の漢方医学や漢方薬は、日本の伝統医学として発展した「日本独自の医学」である。

今後は、西洋医学との融合で病態に応じた効果がより期待される

漢方の世界

* 起源：中国で2,500年前

* 基本理念：気・血・体液等バランスの重要性

* 治療法：漢方薬、鍼灸、温灸、マッサージ、食事療法

* 植物、動物、鉱物を用いた治療法

漢方医学

漢方医学(漢方薬)の主な特徴

1. 自然科学的で伝統的医学である
先人の治療経験の集積
2. 心とカラダを一体としてみる
体全体の調和を図る”全人的医療”
3. 個人の体質・特徴を重視し、症状をみる
原因が特定できないものや、”未病”の状態でも治療できる
4. 天然物がベースとなった生薬を混合した「漢方薬」を使う
1剤に複数の成分が含まれているため、複数の症状にも効果が期待できる

西洋医学

西洋医学(西洋薬)の主な特徴

1. 実証的かつ科学的である
客観的で分析されたものである
2. 器官・臓器中心に物質面を重視する
病気に対してピンポイントに治療する
3. 客観的・分析的で、その結果病名を決定する
画一された治療法を用いる
4. 一般に、精製されたほぼ純粋な薬物を用いた「西洋薬」を使う
ひとつの病気に対して、同系統の位置や薬の投与がなされる

西洋薬と漢方薬

西洋薬	漢方薬
一つの有効成分	複数の有効成分
一つの症状に強い効果 (血圧、細菌、熱、痛み)	多様な症状に効く
患者の訴えや検査を重視	患者の訴えや体質を重視
検査結果や数値	1剤で複数の病気を改善
	<ul style="list-style-type: none">* 虚弱体質* 腰痛等加齢現象* 食欲不振、便秘等胃腸の病気* イライラ、不眠、うつ等精神症状* 生理痛や更年期症状女性の悩み* アレルギー疾患* 慢性疾患、冷え症

西洋医学と東洋医学の違い

	西洋医学	東洋医学
治療	病原が中心	全身のバランス
分野	感染症や手術が必要な病気	不定愁訴や予防医学
メリット	すぐに効果が出る	副作用の心配がない
デメリット	副作用の心配がある	改善までの個人差

2025年度医療講演

◆8月度 「漢方の世界について」

---漢方の歴史及び西洋医学との違いを中心に---

*開催:8月26日(火) 15:00-16:30

*北里大学北里研究所病院

漢方鍼灸治療センター 緒方 千秋先生

◆12月度は技術部会との調整

*からだの科学全般

(からだの不思議---癌、痛み、脳、筋肉、脳)

2025年問題

★2025年問題

- ・団塊世代800万人プラス(国民の1/4)
3000万人1/4 65以上4000万1/3
- ・要介護、利用者の増加 5倍
- ・介護離職(10万人)と人材不足(70万人)
5-6年前の倍 ストレス、憎しみ、虐待
180万から250万 過労・低賃金 外国人3500
- ・年金、社会保障費の増大と文教、科学技術費の削減
40%75歳以上
- ・介護難民・老老介護・虐待・核家族化
認知症 75歳以上 15% 450万 +軽度800万
独居 東京年々増加 5000人、札幌94000 3%